

2 第2次産業

(1) 建設業

① 概況

復帰後、沖縄県の建設業は、これまでの6次にわたる沖縄振興開発計画や沖縄振興計画に基づく各種社会資本の整備のほか、ホテル、ビル、マンション、住宅建設等の活発な民間投資に支えられて、順調に成長してきた。建設業許可業者数は、平成12年以降減少傾向に転じた。平成22年に若干増加した後は平成25年まで再び減少傾向が続いていたが、公共事業の増加等の影響により平成26年以降は増加傾向にある。

建設業の令和4年度の総生産額（名目）は3,987億円で、県内総生産額（名目）の8.9%を占めている（表-10、11参照）。県内総生産に占める割合は、昭和47年度～平成12年度までは10%を超え、平成13年度からは10%を下回って推移していたが、平成29年度から再び10%を超えた（表-28参照）。

また、建設業就業者も復帰後急速に増加し、全就業者に占める割合は、昭和47年以降11～15%台で推移しており、全国の8～10%台を上回っていたが、平成18年以降は全国、沖縄共に低下傾向にある（図-24参照）。

沖縄県内の建設業者数は、令和7年3月末で5,484業者であるが、これを経営組織別にみると、個人が全体の18.9%、法人は81.1%となり、復帰時に比べ法人化が着実に進んでいる。また、資本金階層別にみると、法人のうち資本金1千万円未満の企業が56.9%、1億円未満の企業は99.1%を占め、経営基盤が脆弱な中小零細規模の企業が多く、景気に左右されやすい（表-27参照）。

表-27 経営組織別・資本金階層別業者数

（単位：業者）

区分	総計	個人	法人（資本金階層別）								
			計	2百万円未満	2百万円以上500万円未満	500万円以上1千万円未満	1千万円以上5千万円未満	5千万円以上1億円未満	1億円以上10億円未満	10億円以上	
沖縄県	昭和47年度	2,282 (100.0)	2,036 (89.2)	246 (10.8)	30 (1.3)	61 (2.7)	56 (2.5)	84 (3.7)	10 (0.4)	5 (0.2)	0 (0.0)
	令和6年度	5,484 (100.0)	1,034 (18.9)	4,450 (81.1)	433 (7.9)	887 (16.2)	1,212 (22.1)	1,783 (32.5)	97 (1.7)	34 (0.6)	4 (0.1)
	全国	令和6年度	483,700 (100.0)	67,277 (13.9)	416,423 (86.1)	32,618 (6.7)	109,968 (22.7)	95,855 (19.8)	160,088 (33.1)	12,483 (2.6)	4,235 (0.9)

（注）：1. () 書きは、構成比（%）である。（小数点以下第2位を四捨五入して表示）
2. 各年度ともに3月末現在である。

資料：沖縄県「土木建築部要覧」、国土交通省「建設業許可業者の現況」

表一28 県(国)内総生産(名目)に占める建設業の割合

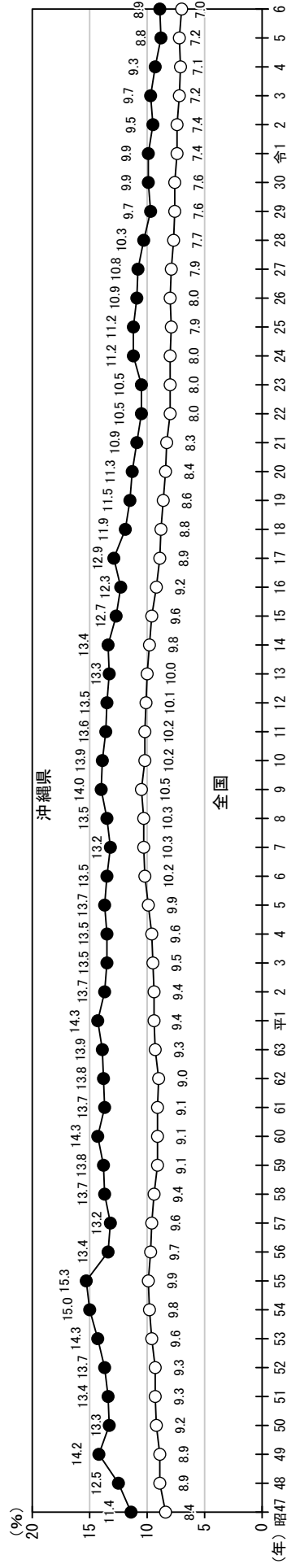
(単位:%)

年度	昭47	50	55	60	平2	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	令1	2	3	4	5	
区分																																			
沖縄県	16.4	14.6	14.3	16.1	13.3	11.6	11.5	10.3	10.3	10.5	10.4	9.5	9.0	8.5	7.7	8.0	7.9	7.3	8.1	8.9	8.3	6.8	6.7	7.8	8.4	9.2	10.2	10.2	10.6	9.3	10.8	8.9	-	-	
全国	8.4	9.7	9.2	7.7	9.8	7.6	7.7	7.2	7.1	7.0	6.7	6.4	6.1	5.9	5.6	5.4	5.4	5.0	4.9	5.0	4.6	4.7	4.7	5.0	5.1	5.2	5.4	5.4	5.5	5.7	5.6	5.4	5.3	-	

(注) : 全国は暦年の数値を使用

資料 : 内閣府経済社会総合研究所「国民経済計算」、沖縄県企画部「県民経済計算」

図一24 全就業者に占める建設業就業者の割合(構成比)の推移

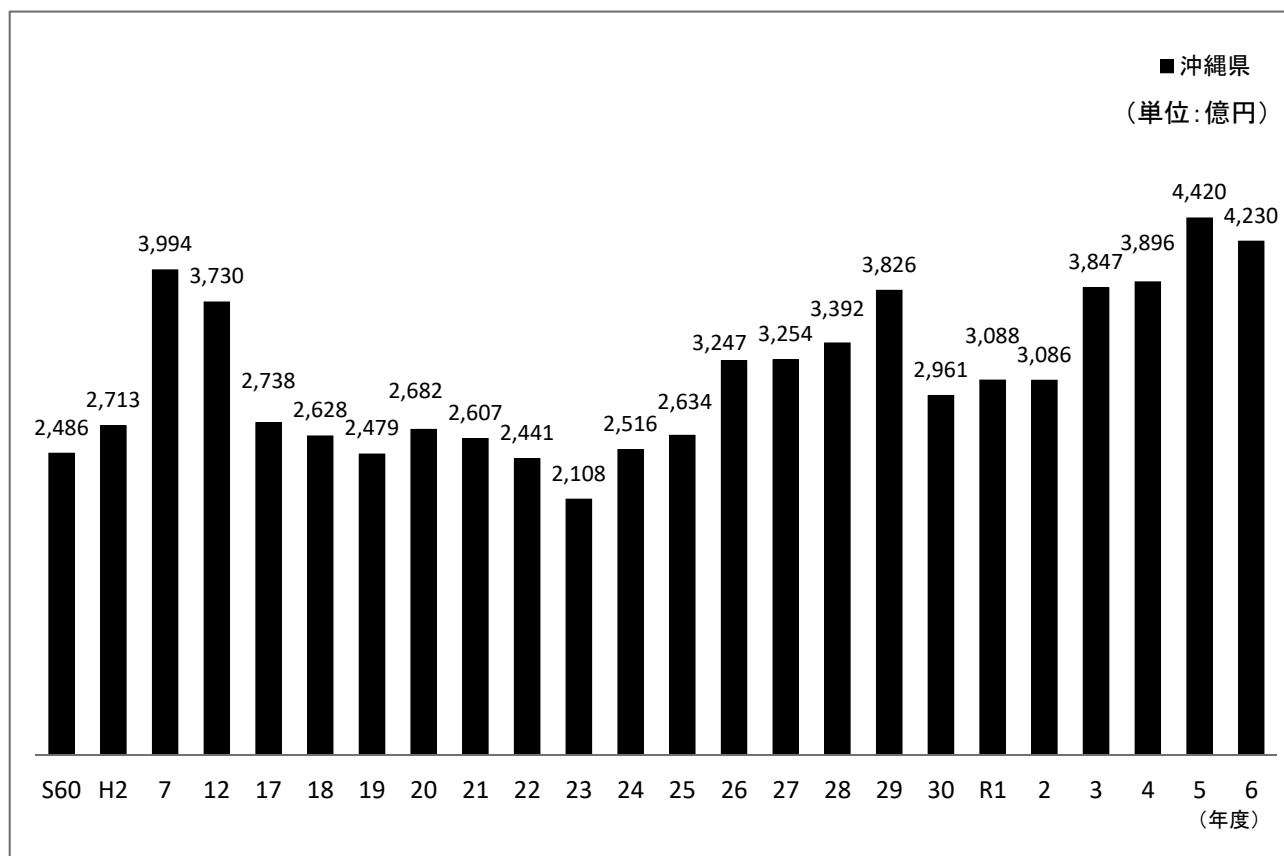


資料 : 沖縄県企画部「労働力調査」、総務省統計局「労働力調査」

② 公共事業の執行状況

沖縄県内における公共事業の状況をみると、昭和55年度から平成10年度にかけて概ね着実な伸びを示しており、平成11年度以降は減少傾向になり、平成24年度から平成29年度までは増加傾向にあったが、平成30年度は前年度の国関連の大型工事の反動により減少した。その後、令和3年度は大幅に増加。令和5年度も増加し、過去最大となったが、令和6年度は減少した。(図-25参照)。

図-25 公共工事請負金額（保証請負額）の推移



資料：西日本建設業保証(株)沖縄支店

③ 新設住宅着工の動向

沖縄県内における令和6年度の新設住宅着工の動向をみると、戸数は9,939戸で対前年度比0.7%減となっている（表－29参照）。また、沖縄県内における新設住宅着工戸数を利用関係別に令和6年度実績でみると、貸家が全体の53.7%、持家が同23.1%、分譲住宅が同22.8%、給与住宅が同0.4%となっており、3年ぶりに持ち家が分譲住宅を上回った（図－26、表－30参照）。

表－29 新設住宅着工戸数の推移

(単位：戸・%)

年度	昭和47	50	55	60	平成2	7	12	17	22	27	28	29	30	令和元	2	3	4	5	6
沖縄県	16,906 (-)	17,169 (31.1)	10,779 (Δ22.4)	18,890 (Δ0.4)	14,741 (Δ1.0)	14,117 (Δ3.2)	12,692 (1.4)	14,303 (3.3)	10,914 (Δ2.8)	16,065 (6.9)	16,488 (2.6)	16,985 (3.0)	16,197 (Δ4.6)	14,243 (Δ12.1)	10,335 (Δ27.4)	9,315 (Δ9.9)	9,474 (1.7)	10,007 (5.6)	9,939 (Δ0.7)
九州	157,270 (25.2)	153,244 (15.0)	132,330 (Δ22.9)	125,297 (Δ7.0)	168,806 (Δ3.2)	135,797 (Δ10.4)	112,476 (Δ0.7)	115,380 (1.5)	70,925 (4.8)	88,794 (9.1)	94,477 (6.4)	94,681 (0.2)	94,910 (0.2)	87,856 (Δ7.4)	78,577 (Δ10.6)	89,199 (13.5)	89,831 (0.7)	83,268 (Δ7.3)	84,459 (1.4)
全国	1,855,801 (21.1)	1,427,719 (13.2)	1,213,859 (Δ18.3)	1,250,994 (3.6)	1,665,367 (Δ0.4)	1,484,652 (Δ4.9)	1,213,157 (Δ1.1)	1,249,366 (4.7)	819,020 (5.6)	920,537 (4.6)	974,137 (5.8)	946,396 (Δ2.8)	952,936 (0.7)	883,687 (Δ7.3)	812,164 (Δ8.1)	865,909 (6.6)	860,828 (Δ0.6)	800,226 (Δ7.0)	816,018 (2.0)

(注)：1. () 書きは前年度比である。
2. 九州には沖縄県を含んでいない。

資料：国土交通省「建築着工統計調査」

表－30 利用関係別・新設住宅着工戸数（沖縄県・年度別）

(単位：戸・%)

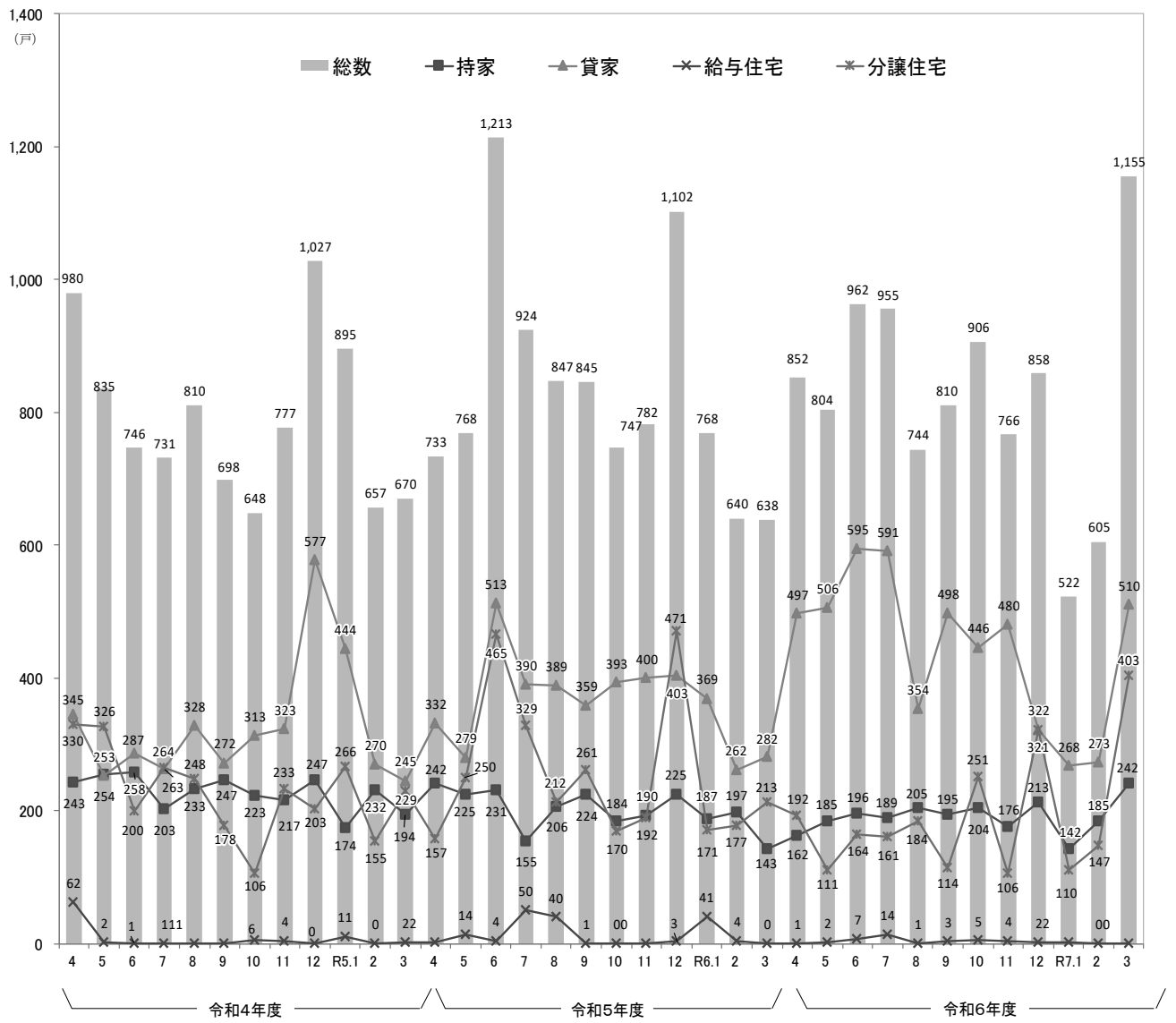
区分	昭和47	50	55	60	平成2	7	12	17	22	27	28	29	30	令和元	2	3	4	5	6
持家	5,292 (43.3)	8,231 (49.6)	5,374 (49.9)	4,875 (25.8)	4,829 (32.8)	5,583 (39.5)	4,166 (32.8)	2,818 (19.7)	2,523 (23.1)	3,215 (20.0)	3,023 (18.3)	3,021 (17.8)	2,791 (17.2)	2,785 (19.6)	2,329 (22.5)	2,897 (31.1)	2,725 (28.8)	2,411 (24.1)	2,294 (23.1)
貸家	6,422 (52.5)	7,098 (42.8)	4,257 (39.5)	11,474 (60.7)	6,839 (46.4)	6,970 (49.4)	7,319 (57.7)	10,575 (73.9)	7,395 (67.8)	10,784 (67.1)	11,389 (69.1)	11,359 (66.9)	10,663 (65.8)	8,583 (60.3)	5,445 (52.7)	3,967 (42.6)	3,920 (41.4)	4,371 (43.7)	5,340 (53.7)
給与住宅	155 (1.3)	210 (1.3)	343 (3.2)	1,075 (5.7)	330 (2.2)	80 (0.6)	19 (0.1)	215 (1.5)	111 (1.0)	60 (0.4)	31 (0.2)	215 (1.3)	69 (0.4)	190 (1.3)	426 (4.1)	194 (2.1)	91 (1.0)	159 (1.6)	41 (0.4)
分譲住宅	352 (2.9)	1,056 (6.4)	805 (7.5)	1,466 (7.8)	2,743 (18.6)	1,484 (10.5)	1,188 (9.4)	695 (4.9)	885 (8.1)	2,006 (12.5)	2,045 (12.4)	2,390 (14.1)	2,674 (16.5)	2,685 (18.9)	2,135 (20.7)	2,257 (24.2)	2,738 (28.9)	3,066 (30.6)	2,264 (22.8)

(注)：1. 昭和47年は年度ではなく、暦年の数値である。
2. () 書きは区分全体に対する割合である。

資料：国土交通省「建築着工統計調査」

図-26 沖縄県内の新設住宅着工戸数

資料：国土交通省「建築着工統計調査」



④ 建設労働者の需給関係

建設労働モニター調査による沖縄県内の技能労働者の過不足率の状況を職種計でみると、令和7年7月の過不足率は0%と均衡し、前年同月と比べ1.8%下回った。また、全国の令和7年7月の過不足率は1.8%の不足となり、前年同月と比べ0.5%下回った。(表-31参照)。

表-31 職種別労働者不足率の推移

(単位：%)

職 種 年 月	沖 縄 県							全 国						
	型 わく 工 (土木)	型 わく 工 (建築)	左 官	と び 工	鉄 筋 工 (土木)	鉄 筋 工 (建築)	職 種 計	型 わく 工 (土木)	型 わく 工 (建築)	左 官	と び 工	鉄 筋 工 (土木)	鉄 筋 工 (建築)	職 種 計
3年1月	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.5	△ 0.5	△ 0.9	0.3	0.1	0.4	0.3
2月	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.6	△ 0.1	0.5	0.3	0.5	0.3	0.3
3月	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.8	0.7	0.1	0.0	△ 0.1	△ 0.3	0.2
4月	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.2	△ 0.2	△ 0.4	△ 1.6	0.1	△ 0.3	△ 0.5
5月	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.2	0.3	△ 0.2	0.0	△ 0.7	△ 0.5	0.0
6月	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.7	2.1	0.1	△ 0.2	0.8	△ 0.4	△ 0.4
7月	0.7	0.0	0.0	0.0	0.0	1.9	0.5	△ 0.1	△ 1.0	△ 0.5	0.3	0.6	0.0	△ 0.1
8月	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	△ 10.0	△ 2.5	1.9	0.3	1.7	0.4	1.8	0.2	0.8
9月	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.5	2.2	1.4	0.8	0.3	1.0	1.3
10月	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.1	2.8	2.3	0.9	0.8	0.4	1.3
11月	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.3	1.5	2.8	1.2	0.9	0.4	1.2
12月	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.0	0.1	0.4	2.2	1.0	6.5	2.2
4年1月	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.7	△ 0.2	△ 0.4	0.3	1.1	8.0	1.7
2月	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.9	△ 0.2	△ 0.2	0.4	△ 1.0	6.0	1.3
3月	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.6	0.9	△ 1.5	0.3	0.0	4.7	1.0
4月	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.5	1.8	1.5	1.1	2.0	6.1	1.9
5月	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.7	0.4	1.2	1.0	2.0	1.4
6月	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.3	1.7	2.8	0.8	0.1	2.0	1.2
7月	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.9	4.1	1.7	1.2	0.8	1.1	1.6
8月	5.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.3	2.2	3.9	6.4	0.9	1.3	2.2	2.2
9月	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.1	5.2	4.1	1.0	2.2	2.6	2.5
10月	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.3	3.4	1.5	1.0	2.1	1.4	1.9
11月	1.1	0.7	4.0	0.0	0.0	0.0	0.6	2.0	2.9	3.2	1.3	1.2	0.6	1.7
12月	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.5	2.5	1.6	0.9	0.7	1.1	1.4
5年1月	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.2	2.6	2.1	2.1	0.5	△ 0.2	1.6
2月	0.0	0.0	0.3	0.0	0.0	0.0	0.1	△ 0.2	2.1	1.4	1.4	0.1	△ 0.1	0.9
3月	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.6	0.9	1.5	0.0	△ 0.2	2.6	0.8
4月	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.3	1.4	1.2	0.9	0.9	△ 0.1	1.0
5月	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.5	0.6	3.8	0.8	△ 0.1	△ 0.2	0.8
6月	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.2	3.1	1.9	1.6	0.3	2.3	1.9
7月	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.4	2.0	2.8	1.6	0.2	2.7	1.8
8月	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.3	2.6	4.1	2.8	1.1	△ 0.5	2.2
9月	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.4	4.3	3.5	2.6	1.2	1.4	2.6
10月	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.3	2.8	4.3	2.8	0.6	0.7	2.2
11月	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.5	1.6	4.2	1.7	1.6	1.6	1.8
12月	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.6	0.6	2.8	1.6	0.2	0.2	1.1
6年1月	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.6	3.3	3.2	2.0	0.9	0.5	1.8
2月	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.3	4.2	4.3	0.8	0.3	2.3	1.9
3月	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.0	3.7	3.3	1.8	0.1	0.6	1.8
4月	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.6	0.2	0.6	1.5	1.7	2.0	1.1
5月	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.7	△ 0.2	0.6	0.0	1.0	0.4	0.3
6月	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.6	△ 0.1	2.1	0.5	2.3	1.1	1.0
7月	0.0	0.0	0.0	0.0	5.4	0.0	1.8	2.3	1.3	3.0	1.6	4.5	1.9	2.3
8月	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.4	0.4	1.6	0.9	1.2	1.6	1.2
9月	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.7	1.1	2.3	0.7	2.8	1.2	1.6
10月	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.8	2.3	2.7	2.5	2.8	2.2	2.5
11月	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.7	△ 0.2	1.2	1.8	1.9	△ 2.0	0.7
12月	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.7	0.5	0.2	0.5	0.9	0.9	0.2	0.4	0.6
7年1月	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	5.3	0.6	1.7	△ 0.3	0.9	0.4	0.5	0.3	0.6
2月	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.9	△ 0.1	0.6	0.0	0.8	△ 0.4	0.3
3月	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.3	1.8	0.7	△ 1.7	1.1	0.1	0.3
4月	0.0	3.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.7	1.7	0.7	0.4	1.1	2.0	△ 3.8	0.5
5月	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.9	△ 1.7	0.9	1.6	1.1	△ 2.3	0.6
6月	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.4	△ 1.3	0.3	3.6	0.4	△ 1.1	1.1
7月	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.7	△ 1.4	1.7	3.7	1.7	△ 0.8	1.8

(注) : 過不足率 = $\frac{(\text{確保したかったが出来なかった労働者数}) - (\text{確保したが過剰となった労働者数})}{(\text{確保している労働者数}) + (\text{確保したかったが出来なかった労働者数})}$

資 料 : 国土交通省「建設労働需給調査」

(2) 製造業

① 概況

令和4年度の製造業の県内総生産（名目）は1,801億円（構成比4.0%）で、前年度に比べ3.7%の減少となった（表-10、11参照）。また、構成比で全国との比較をみると、全国（構成比19.8%）と約5.0倍の差がある（表-32参照）。

沖縄県の主な製造業としては、精米・パン製造業を中心とした食料品製造業、清涼飲料・酒類製造を中心とした飲料・たばこ・飼料製造業、セメント製造を中心とした窯業・土石製品製造業、金属製サッシ・ドア製造業を中心とした金属製品製造業等がある。

令和6年の製造業の概況を、「経済構造実態調査」の結果からみると、事業所数980事業所、従業者数23,683人となっている。（表-33参照）。

また、産業別にみると、食料品製造業が295事業所、従業者数10,785人で、それぞれ全産業の30.1%、45.5%を占めている（表-34参照）。

一方、従業者規模別にみると、従業者1～9人の小規模事業所が41.8%（全国48.8%）で半数近くを占めており、100人以上の事業所は3.1%（全国6.4%）となっている（図-27参照）。

表-32 県（国）内総生産に占める製造業の割合

（単位：%）

年度 区分	昭和 47	50	55	60	平成 2	7	12	17	22	令和 元	2	3	4	5
沖縄県	10.9	8.3	6.9	6.3	5.8	5.4	5.8	4.2	4.7	4.2	4.9	4.3	4.0	-
全国	34.5	30.2	28.0	28.1	26.5	23.5	22.5	21.4	20.8	20.2	20.1	20.8	19.8	20.6

（注）：沖縄県は年度、全国は暦年数値である。

資料：内閣府経済社会総合研究所「国民経済計算年報」、沖縄県企画部「県民経済計算」

表-33 製造業における事業所数及び従業者等の推移

1 概況

(単位：人、%、百万円)

区分	事業所			従業者		出荷額等			
	実数	対前年増 加率	実数	対前年 増加率	全製造業		石油・石炭製品 製造業を除く		
					実績	指数	実績	指数	
沖縄県	昭和47年	2,374	—	26,728	—	132,156	100	101,482	100
	50	2,630	3.5	25,270	△ 1.9	359,853	272	190,620	188
	60	2,870	2.4	26,564	1.7	580,850	440	425,402	419
	平成元年	3,059	0.4	27,131	△ 2.4	497,960	377	429,168	423
	5	2,952	△ 3.7	29,045	△ 0.5	555,599	420	462,196	455
	10	2,951	4.9	28,813	3.3	584,428	442	448,105	442
	15	2,767	△ 2.5	26,992	1.9	610,578	462	432,198	426
	20	2,744	△ 10.3	27,541	△ 2.3	613,208	464	401,732	396
	25	2,772	△ 1.8	27,142	△ 0.7	—	—	—	—
	30	2,649	0.1	29,525	4.4	—	—	—	—
	令和4年	978	—	23,166	—	459,905	348	455,514	449
	5	983	0.5	23,384	0.9	474,300	359	468,648	462
	6	980	△ 0.3	23,683	1.3	506,700	383	502,183	495
全国	昭和47年	702,586	9.2	11,783,439	2.8	80,961,903	100	78,580,248	100
	平成20年	442,562	12.2	8,726,479	△ 1.6	337,863,997	417	323,837,696	412
	30	357,754	△ 2.8	8,030,146	1.4	321,939,459	398	308,625,321	393
	令和4年	222,770	—	7,714,495	—	330,309,307	408	315,876,399	402
	5	223,391	0.3	7,751,935	0.5	361,877,429	447	343,078,458	437
	6	222,200	△ 0.5	7,734,473	△ 0.2	373,238,830	461	356,107,702	453

(注)：1. 出荷額等は、出荷額、加工賃収入額及び修理収入額等の合計である。
 2. 令和2年までの沖縄県数値は沖縄県公表の「工業統計調査」、全国の数値は経済産業省公表の「工業統計調査」による。
 令和3年の数値は総務省及び経済産業省公表の「令和3年経済センサス-活動調査」、令和4年以降の数値は総務省及び経済産業省公表の「経済構造実態調査」による。
 3. 沖縄県の平成24年～令和2年までの出荷額等については、従業者3人以下の事業所について調査がなされていないため、表章していない。
 4. 令和2年までの事業所数、従業者数及び平成29年以降令和2年までの全国の出荷額等の数値は推計値(従業者3人以下の事業所)を含む。
 5. 令和3年以降は、個人経営を含まない集計結果であるため、令和3年の対前年増加率については表章していない。
 6. 平成29年以降の事業所数及び従業者数は調査年の6月1日現在の数値、出荷額等については調査年前年の1月から12月の実績である。
 資料：経済産業省、沖縄県「工業統計調査」、総務省及び経済産業省「令和3年経済センサス-活動調査」、総務省及び経済産業省「経済構造実態調査」

2 1事業所当たり従業者数等

(単位：人、百万円)

区分	1事業所当たり				従業者1人当たり出荷額等	
	従業者数	出荷額等		全製造業	石油・石炭製品 製造業を除く	
		全製造業	石油・石炭製品 製造業を除く			
沖縄県	昭和47年	11.3	55.7	42.9	4.94	3.89
	50	9.6	136.8	72.9	14.24	7.80
	60	9.3	202.4	149.6	21.87	16.52
	平成元年	8.9	162.8	141.6	18.35	16.32
	5	9.8	188.2	158.2	19.13	16.36
	10	9.8	198.0	152.5	20.28	15.90
	15	9.8	220.7	157.5	22.62	16.24
	20	10.0	223.5	147.4	22.27	14.75
	25	9.8	—	—	—	—
	30	11.1	—	—	—	—
	令和4年	23.7	470.3	472.0	19.85	19.77
	5	23.8	482.5	484.1	20.28	20.23
	6	24.2	517.0	519.9	21.40	21.37
全国	昭和47年	16.8	115.2	112.0	6.87	6.69
	平成20年	19.7	763.4	733.6	38.71	37.22
	30	22.4	899.9	865.3	40.09	38.56
	令和4年	34.6	1,482.7	1,426.1	42.82	41.09
	5	34.7	1,619.9	1,544.4	46.68	44.42
	6	34.8	1,679.7	1,612.0	48.26	46.21

(注)：1. 出荷額等は、出荷額、加工賃収入額及び修理収入額等の合計である。
 2. 令和2年までの沖縄県数値は沖縄県公表の「工業統計調査」、全国の数値は経済産業省公表の「工業統計調査」による。
 令和3年の数値は総務省及び経済産業省公表の「令和3年経済センサス-活動調査」、令和4年以降の数値は総務省及び経済産業省公表の「経済構造実態調査」による。
 3. 沖縄県の平成24年～令和2年までの出荷額等については、従業者3人以下の事業所について調査がなされていないため表章していない。
 4. 令和2年までの事業所数、従業者数及び平成29年以降令和2年までの全国の出荷額等の数値は推計値(従業者3人以下の事業所)を含む。令和3年以降は、個人経営を含まない集計結果である。
 5. 平成29年以降の事業所数及び従業者数は調査年の6月1日現在の数値、出荷額等については調査年前年の1月から12月の実績である。
 資料：経済産業省、沖縄県「工業統計調査」、総務省及び経済産業省「令和3年経済センサス-活動調査」、総務省及び経済産業省「経済構造実態調査」

表-34 産業別事業所数、従業者数、出荷額等（令和6年・個人経営を除く全事業所）

（単位：人、百万円、％）

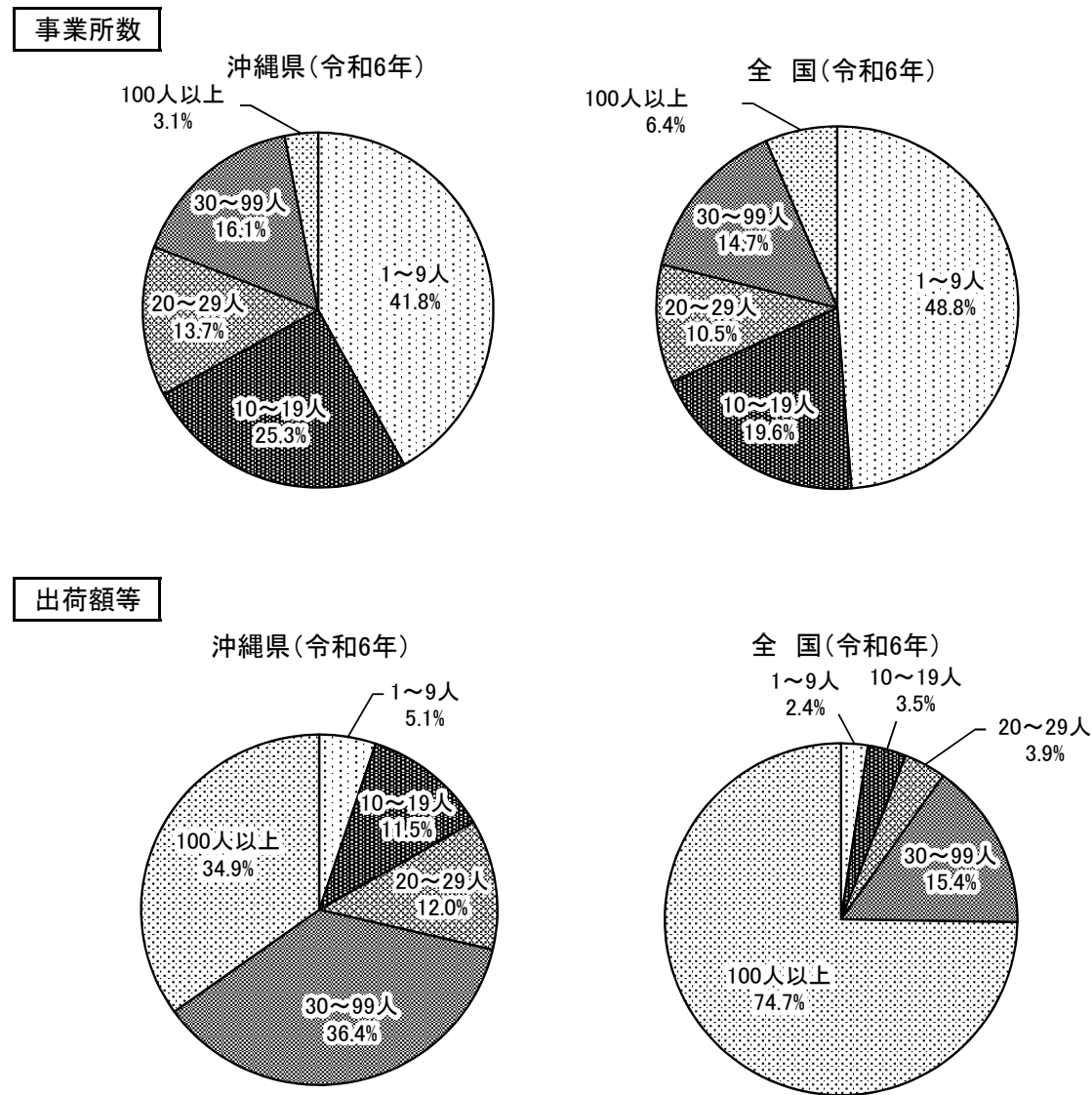
区 分	事業所数		従業者数		出荷額等	
		構成比		構成比		構成比
合 計	980	100.0	23,683	100.0	506,700	100.0
食料品製造業	295	30.1	10,785	45.5	197,798	39.0
飲料・たばこ・飼料製造業	109	11.1	1,883	8.0	76,835	15.2
繊維工業	36	3.7	587	2.5	3,876	0.8
木材・木製品製造業	8	0.8	69	0.3	1,874	0.4
家具・装備品製造業	33	3.4	332	1.4	4,100	0.8
パルプ・紙・紙加工品製造業	6	0.6	292	1.2	4,825	1.0
印刷・同関連業	68	6.9	1,208	5.1	16,330	3.2
化学工業	37	3.8	600	2.5	9,669	1.9
石油製品・石炭製品製造業	14	1.4	189	0.8	4,517	0.9
プラスチック製品製造業	21	2.1	506	2.1	9,871	1.9
ゴム製品製造業	1	0.1	4	0.0	X	X
なめし革・同製品・毛皮製造業	2	0.2	3	0.0	X	X
窯業・土石製品製造業	141	14.4	2,614	11.0	64,311	12.7
鉄鋼業	8	0.8	602	2.5	34,090	6.7
非鉄金属製造業	1	0.1	19	0.1	X	X
金属製品製造業	114	11.6	2,407	10.2	53,221	10.5
はん用機械器具製造業	9	0.9	168	0.7	1,884	0.4
生産用機械器具製造業	10	1.0	213	0.9	4,364	0.9
業務用機械器具製造業	7	0.7	51	0.2	615	0.1
電子部品・デバイス・電子回路製造業	1	0.1	90	0.4	X	X
電気機械器具製造業	11	1.1	402	1.7	9,036	1.8
情報通信機械器具製造業	1	0.1	12	0.1	X	X
輸送機械器具製造業	10	1.0	151	0.6	3,486	0.7
その他の製造業	37	3.8	496	2.1	3,448	0.7

（注） 1. 事業所数及び従業者数は調査年の6月1日現在の数値、出荷額等については調査前年の1月から12月の実績である。

2. Xは非公表である。

資 料：総務省及び経済産業省「経済構造実態調査」

図一27 従業者規模別構成比（個人経営を除く全事業所）



（注）事業所数及び従業者数は調査年の6月1日現在の数値、出荷額等については調査前年の1月から12月の実績である。

資料：総務省及び経済産業省「経済構造実態調査」

② 業種別動向

個人経営を除く全事業所の産業別出荷額等をみると、令和6年は食料品製造業が39.0%（1,978億円）を占めて最も多く、次いで飲料・たばこ・飼料製造業が全体の15.2%（768億円）、窯業・土石製品製造業12.7%（643億円）、金属製品製造業10.5%（532億円）となっており、これらの4業種で全体の約7.7割を占めている（表一34参照）。

なお、伝統工芸品産業（織物、漆器、陶器など）は、手作り品に対する認識の高まり、観光客の増加等により復帰後急速に伸びたが近年は停滞気味である。

令和5年度の生産額について、織物全体の生産額が増加し、特に八重山上布・ミンサー・竹富織物は4億3,700万円となっており、本土復帰時（昭和47年度）と比べると、約20.8倍と大幅に増加している。陶器は13億9,000万円で、前年度より1億5,000万円増加、琉球ガラスは8億900万円で、前年度より4億3,000万円増加した。（表一36参照）。

表-35 食料品製造業の推移

(単位：ヶ所)

区 分	事業所数											
	昭和 47年	60	平成 5年	10	15	20	25	30	令和 3年	4	5	6
全 製 造 業	2,374	2,870	2,952	2,951	1,462	1,411	1,204	1,118	835	978	983	980
食 料 品 製 造 業	663	767	814	786	455	454	402	374	264	295	298	295
畜産食料品製造業	45	56	42	44	37	34	35	34
水産食料品製造業	87	98	49	48	31	36	39	38
野菜缶詰・果実缶詰・ 農産保存食料品製造業	5	4	14	16	14	18	18	18
砂 糖 製 造 業	...	23	22	19	18	17	23	24	22	22	22	22
食料品製造業の全製造業 に占める比率(%)	27.9	26.7	27.6	26.6	31.1	32.2	33.4	33.5	31.6	30.2	30.3	30.1

(単位：人)

区 分	従業者数											
	昭和 47年	60	平成 5年	10	15	20	25	30	令和 3年	4	5	6
全 製 造 業	26,728	26,564	29,045	28,813	24,679	25,193	23,977	26,042	22,986	23,166	23,384	23,683
食 料 品 製 造 業	10,086	7,264	8,753	9,783	9,631	10,496	10,640	11,998	10,842	10,404	10,553	10,785
畜産食料品製造業	1,695	1,799	1,900	2,211	1,838	1,258	1,264	1,270
水産食料品製造業	707	728	739	808	1,127	634	626	656
野菜缶詰・果実缶詰・ 農産保存食料品製造業	41	47	196	272	252	242	238	241
砂 糖 製 造 業	...	1,168	973	788	584	524	651	675	679	641	643	642
食料品製造業の全製造業 に占める比率(%)	37.7	27.3	30.1	34.0	39.0	41.7	44.4	46.1	47.2	44.9	45.1	45.5

(単位：千万円)

区 分	出荷額等											
	昭和 47年	60	平成 5年	10	15	20	25	30	令和 3年	4	5	6
全 製 造 業	13,620	58,085	55,560	58,443	60,131	60,435	62,828	47,987	46,943	45,991	47,430	50,670
食 料 品 製 造 業	5,227	16,647	15,759	14,771	13,470	13,536	14,698	18,669	18,319	17,834	18,442	19,780
畜産食料品製造業	3,849	4,110	4,222
水産食料品製造業	790	987	821
野菜缶詰・果実缶詰・ 農産保存食料品製造業	145	22	250	304	250	252
砂 糖 製 造 業	...	5,961	4,218	3,122	2,624	1,642	1,451
食料品製造業の全製造業 に占める比率(%)	38.4	28.7	28.4	25.3	22.4	22.4	23.4	38.9	39.0	38.8	38.9	35.0

資 料： 経済産業省、沖縄県「工業統計調査」、総務省及び経済産業省「令和3年経済センサス-活動調査」、
総務省及び経済産業省「経済構造実態調査」

- (注)： 1. 平成13年～令和3年は従業者4人以上の事業所に係る数値である。
2. 出荷額等には、製品出荷額の他に加工賃・修理収入を含む。
3. 令和3年は「令和3年経済センサス-活動調査」、令和4年以降は「経済構造実態調査」の数値である。
4. 平成29年以降の事業所数及び従業者数は調査年の6月1日現在の数値、出荷額等については調査年前年の1月から12月の実績である。

表-36 伝統工芸品産業等の推移

(単位:所、人、百万円)

区分	事業所数						従業者数						生産額						
	年度	昭和47	60	平成10	25	令和4	5	昭和47	60	平成10	25	令和4	5	昭和47	60	平成10	25	令和4	5
織物	芭蕉布	...	22	24	18	14	16	50	35	49	30	28	28	20	54	72	74	68	63
	読谷山花織 読谷山ミンサー	...	204	170	70	102	101	50	204	170	70	102	101	12	80	129	39	41	36
	琉球絣	...	98	67	39	45	45	400	475	203	156	164	161	666	686	441	205	171	163
	久米島紬	...	420	262	107	95	92	470	586	262	107	98	95	221	529	149	65	41	49
	宮古上布	...	88	44	16	17	17	486	108	48	44	21	27	119	102	18	42	11	26
	八重山上布 ミンサー 竹富織物	...	286	198	105	99	107	115	419	266	228	180	183	21	229	597	714	382	437
	首里織	...	71	25	55	37	38	...	125	61	70	43	42	...	156	63	54	31	34
	与那国織	...	42	25	30	34	28	20	56	27	30	34	28	1	28	28	21	18	19
	知花花織	38	66	67	38	66	67	17	12	17
織物合計	974	1,231	815	478	509	511	1,591	2,008	1,086	773	736	732	1,060	1,864	1,497	1,230	775	845	
紅型	22	31	25	32	29	30	104	166	109	117	88	76	44	587	384	297	200	198	
陶器	17	101	123	118	95	101	66	412	486	362	358	413	116	1,060	1,056	958	1,237	1,387	
漆器	14	12	10	5	7	6	223	197	119	42	12	16	143	590	506	102	26	25	
琉球ガラス	...	8	11	13	10	11	...	77	223	288	132	172	...	488	575	906	370	809	
三線	16	15	15	28	18	19	60	54	92	
ウージ染め その他染物	4	28	28	29	61	53	49	57	50	76	39	92	
小木工	28	18	16	14	69	60	54	64	334	344	222	218	
合計	1,027	1,383	1,016	708	709	717	1,984	2,860	2,153	1,723	1,447	1,549	1,362	4,589	4,402	3,974	2,924	3,665	

資料:沖縄県商工労働部「工芸産業振興施策の概要」
 ※四捨五入の関係等で、計数は必ずしも一致しない。